

職務経歴書

20×年×月×日現在

氏名：××××

株式会社××メディカル・ジャパン

(勤務期間：2018年1月～現在)

事業内容：臨床検査機器、試薬の製造・販売

本社所在地：東京都××区 従業員数：150名 年間売上高：100億円（20××年度）

◎2018年1月～現在までアプリケーションスペシャリスト部門に所属

■担当職務

- 臨床検査機器・試薬のアプリケーションスペシャリスト業務全般
- 担当製品：生化学検査装置、免疫血清検査装置、各種試薬など
- 学会・展示会での製品デモンストレーションの実施
- 自社営業マンに同行したうえでの臨床面からの営業サポート
- 製品導入後の顧客向け製品トレーニング、テクニカルサポート
- 国内臨床情報の収集、海外親会社へのフィードバック
- 現在の職位：リーダー（部下2名）

■特記事項

- 営業マンからの質問には翌日までの回答を厳守し、彼らが動きやすいよう努力しています。
- 2019年度に導入された新製品では、営業マンと共に全国を飛び回り、売上目標達成に貢献。
- 2020年度にはリーダーへと昇進。目下、部下2名のマネジメントに奮闘中。

××大学医学部附属病院

(勤務期間：2011年4月～2017年12月)

事業内容：医療機関

本社所在地：神奈川県××市

病床数：700床

◎2011年4月～2017年12月まで検査科に所属

■担当職務

- 検体検査（血液検査、輸血検査、生化学検査、免疫血清検査など）
- 生理機能検査（心電図検査、脳波検査、呼吸機能検査、超音波検査など）
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）関連業務（簡易PSG、CPAP機器の導入説明など）
- 病理検査関連業務（検体の切出・検査、細胞診、病理解剖など）
- 各種検査手順書の作成・整備
- 各種検査機器の保守・管理
- 院内勉強会の企画・実施

■特記事項

- 2015年度から後輩の指導・育成を任せられる。
- 2015年度に業務改善プロジェクトに参画。残業時間の削減（20%減）に貢献。
- 2016年度に分院開設プロジェクトに参画。分院のスムーズな開設・稼働に貢献（院長賞）。
- 2016年、2017年に医学検査学会、日本超音波検査学会学術集会にて学会発表。

■取扱経験のある医療機器

- 生化学自動分析装置（日立）、免疫血清検査装置（シスメックス）
- 自動組織細胞染色装置（日本ベクトン・ディッキンソン）
- 呼吸機能検査装置（フクダ電子、日本光電）
- 超音波診断装置（富士フイルム、GE）

- 睡眠時無呼吸症候群治療・検査機器（フィリップス）
- 血液ガス分析装置（ラジオメーター）

■ 転職理由

- 臨床検査技師として検体検査から生理機能検査まで携わってきましたが、ルーチンワークとなることが否めない現状のなかで、豊富な臨床経験を活かしつつ、主体性を発揮でき、かつ、自身の仕事の成果が給与に反映される環境を求めて、現職の医療機器メーカーへと転職。

自己PR

■ 私は学生時代に卓球で主体性を育みました！

私は中学・高校時代に、卓球部に所属しておりましたが、練習を重ねても中々良い結果を残すことができず、悔しい思いをしていました。そのような状況下で、私は主体的に、自分の技術を見直し、毎日小さな目標をひとつ立てて、それを達成するまで粘り強く練習に励みました。その結果、県大会出場という大きな目標を達成することができました。私が卓球で育んだこの主体性は、私の人格そのものであり、現職のアプリケーションスペシャリスト業務でも大いに活かされています。

■ 主体的な働き方を求めて、臨床検査技師からアプリケーションスペシャリストに転身！

学卒後は臨床検査技師として病院に入職し、医師や上司から指示された職務を忠実にこなしてきましたが、院内での業務改善プロジェクトに参加したのを契機に、病院入職以降の自身の受動的な働き方に徐々に疑問を抱くようになりました。そんな折、分院が開設されることになり、臨床検査技師代表としてプロジェクトに参画、分院のスムーズな開設・稼働に貢献。医師や上司からの指示待ちではない、主体的な働き方に目覚めて、アプリケーションスペシャリストへと転身しています。

■ 豊富な臨床経験でお客様との信頼関係を構築します！

前職・大学附属病院での、検体検査から生理機能検査までの豊富な臨床経験は私の貴重な財産となっており、現在勤めている医療機器メーカーでのアプリケーションスペシャリスト業務でも大いに役立っております。当該医療機器の正しい使い方を的確に説明できることはもちろんですが、臨床現場で働く医師・臨床検査技師などの目線で、それぞれの臨床現場が抱える問題や課題を的確に理解できますし、それがお客様との信頼関係構築に繋がっています。

■ アプリケーションスペシャリストとして売上拡大に貢献します！

病院では業務改善プロジェクトなどで成果を出しても、それが給与に反映されることはありませんでした。むしろダラダラ残業している方が残業代を多く稼ぐという不合理な面もあり、私は自身の仕事の成果が給与に反映される環境を求めて、現職の医療機器メーカーへと転職しています。今後もこれまで培ってきた豊富な臨床経験を活かしつつ、アプリケーションスペシャリストとして営業職をさらに効率よくサポートすることにより、ますます自社の売上拡大に貢献したいと考えています。